

SONY®

取扱説明書

スピーカーシステム

SA-Z1

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的な点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない スピーカーシステムの上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない



禁止

火災や感電の危険をさけるために、スピーカーシステムを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、スピーカーシステムの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。スピーカーシステムの上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

→ 万一、水や異物が入ったときは、すぐにスピーカーシステムの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない



禁止

布をかけた時、毛足の長いじゅうたんや布団の上またはスピーカーシステムを本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密着して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する



指示

スピーカーシステムは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、スピーカーシステムの電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない



禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電、けがの原因となることがあります。

→ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、スピーカーシステムや電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない



禁止

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時、スピーカーシステムと壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源コードを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

→ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて交換をご依頼ください。



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

→ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをおすすめします。

安定した場所に置く



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、スピーカーシステムが落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは足にひっかけるとスピーカーシステムの落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

設置上のご注意

スピーカーシステムの角でけがをしないようにお気をつけください。



指示

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスをスピーカーシステムに使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることもあります。



接触禁止

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



指示



電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

- 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火の中に入れて、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、火のそばや直射日光のあたる場所など高温の場所で使用・保管・放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

十と一の向きを正しく入れる

- 十と一を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
- 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

使用上のご注意

機種名とシリアルナンバーを確認するには

本機の機種名とシリアルナンバーは、本体の背面にある機銘板に表示してあります。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上。
- 湿気が多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本体をこれらの機器から離して設置してください。
- 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近く。

医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

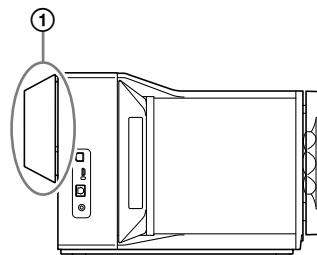
お手入れについて

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

使用中の本体の温度上昇について

使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

特に、大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、放熱板(特に右図の①の部分)が熱くなります。このようなときは、キャビネットに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。また、密閉した場所に置いて使用しないでください。温度上昇を防ぐため、風通しのよい所でお使いください。



付属の電源コードについて

付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

目次

同梱品一覧	8
本機につなげる入力機器	10
各部の名称とはたらき	12
スピーカーA	12
スピーカーB	14
本体構造	15
リモコン	16

準備する

スピーカーを設置する	17
接続1 左右のスピーカーをつなぐ	19
接続2 入力機器をつなぐ	20
デジタルメディアプレーヤーをつなぐ	20
パソコンをつなぐ	20
ウォークマン®をつなぐ	21
スマートフォンをつなぐ	21
光デジタル出力端子を持つ機器をつなぐ	22
ステレオミニ音声出力端子を持つ機器をつなぐ	22
バランス(XLR)音声出力端子を持つ機器をつなぐ	23
アンバランス(RCA)音声出力端子を持つ機器をつなぐ	23
接続3 電源コードをつなぐ	24

再生

ウォークマン、スマートフォン、AV機器の音源を聞く	25
パソコンの音源を聞く	26
パソコンの準備をする	26
パソコンの音楽を再生する	29
音調整機能を操作する	30
DSEE HX	30
DSDリマスタリング	31
D.A.ハイブリッドアンプANALOG ASSIST (D.A. ASSIST)	32
アシストウーファーMOTION (A.WF MOTION)	32
アシストウーファーFREQUENCY RANGE (A.WF FREQ RANGE)	33
アシストトゥイーターTIME ALIGNMENT (A.TW TIME ALI)	33

さまざまな機能を使う

ディスプレイの表示を切り替える	34
メニューを操作する	35
メニュー一覧	37

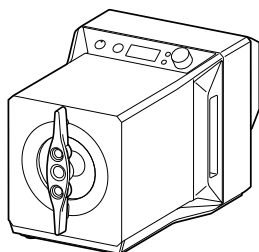
仕様・技術解説

本機の信号処理について	38
信号処理の流れ	38
8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルター	38
DSEE HX	40
DSDリマスタリング	40
D.A.ハイブリッドアンプについて	41
エージングについて	42
困ったときは	43
全般	43
音	46
USB-B	47
主な仕様	48
商標について	49
保証書とアフターサービス	50
索引	51

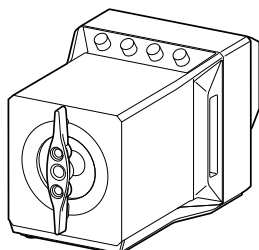
同梱品一覧

()内の数字は個数です。

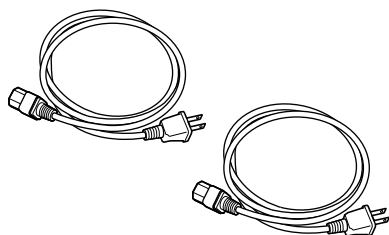
本体(スピーカーA)



本体(スピーカーB)



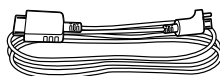
電源コード(2)



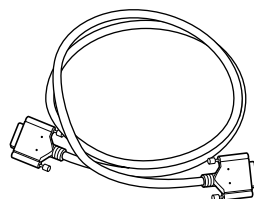
USBケーブル(USB-C™/USB-B) (1)



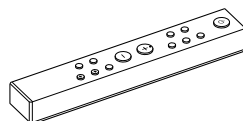
ウォークマン用デジタルケーブル(1)



デジタル同期ケーブル(1)



リモコン(1)



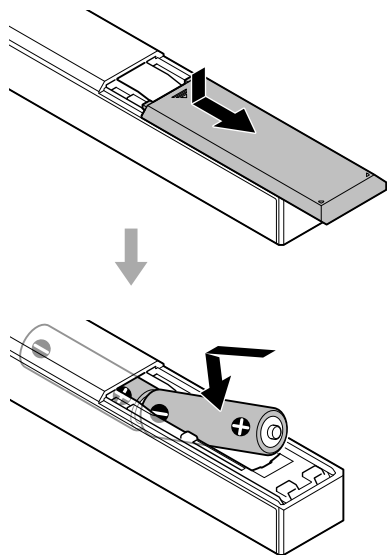
単4形乾電池(2)



取扱説明書(本書)

電池の入れかた

付属の単4形乾電池を入れてください。

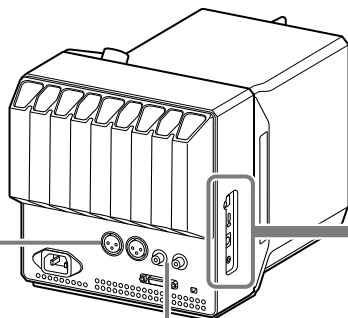
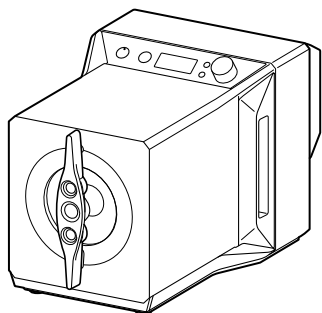


ご注意

- 極端に温度や湿度の高い場所にリモコンを放置しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- 異なる種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、液漏れや腐食を避けるために乾電池を取り出してください。

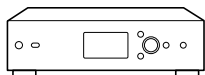
本機につなげる入力機器

スピーカーAには以下の端子があり、モバイルオーディオ機器や据置型オーディオ機器をはじめ、様々な入力機器をつないで、パーソナル空間で高い解像度と広大なステージ感を楽しむことができます。接続について詳しくは、「入力機器をつなぐ」(20~23 ページ)をご覧ください。



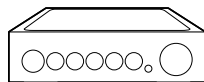
BALANCED端子

LINE OUT機能を備えたオーディオプレーヤー、ヘッドホンアンプなど(23 ページ)



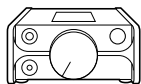
UNBALANCED端子

LINE OUT機能を備えたオーディオプレーヤー、ヘッドホンアンプなど(23 ページ)



USB-B端子

デジタルメディアプレーヤー(20 ページ)



DMP-Z1など

パソコン(20 ページ)



パソコンを接続する場合は、USBドライバーをインストールする必要があります。(26 ページ)

WALKMAN端子

ウォークマン(21 ページ)



ウォークマンをつなぐと同時に充電を行いたい場合は、[WM CHARGE]をオンに設定してください。(37 ページ)

スマートフォン(21 ページ)



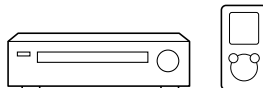
STEREO MINI端子

LINE OUT機能を備えたポータブルプレーヤーなど(22 ページ)



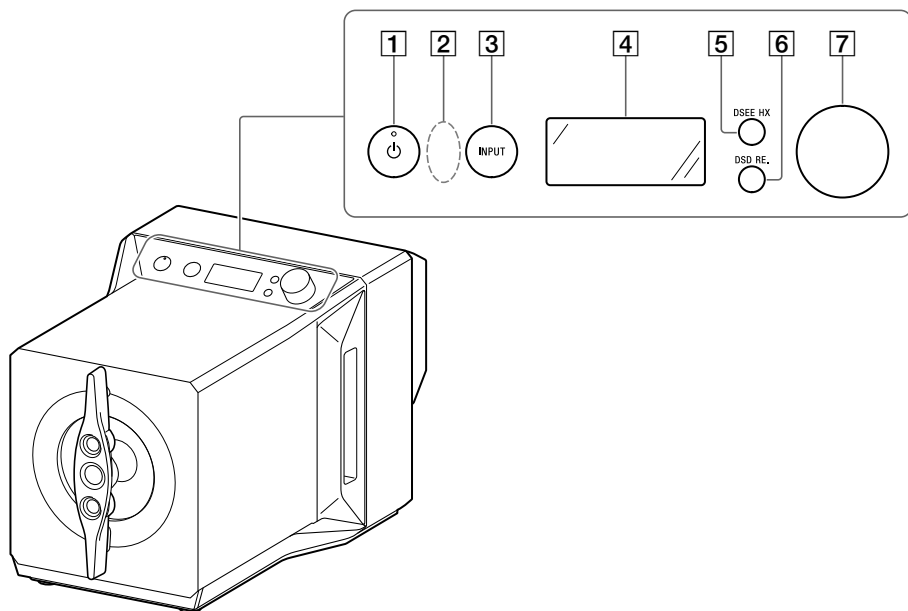
OPTICAL端子

CDプレーヤー、ポータブルプレーヤーなど(22 ページ)



各部の名称とはたらき

スピーカーA



① 電源ボタン*、電源ランプ

本機の電源をオン/オフします。起動中はランプがゆっくり点滅し、電源が入ると点灯します。

② リモコン受光部

③ INPUT(入力切り替え)ボタン*

繰り返し押し、音源の機器をつないだ入力端子を選びます。選んだ入力端子名がディスプレイに表示されます。(25ページ)

④ ディスプレイ

入力名や入力信号のフォーマット、メニューなどを表示します。(34ページ)

⑤ DSEE HXボタン*、DSEE HXランプ

DSEE HX機能をオン/オフします。DSEE HX処理動作中はDSEE HXランプが点灯します。DSEE HX機能について詳しくは、「音調整機能を操作する」(30ページ)をご覧ください。

⑥ DSD RE.ボタン*、DSD RE.ランプ

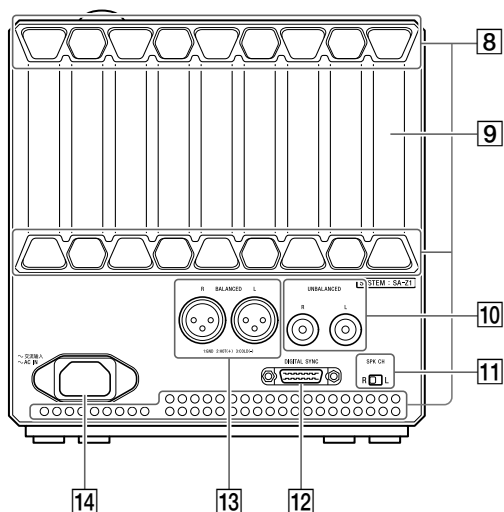
DSDリマスタリング機能をオン/オフします。DSDリマスタリング処理動作中はDSD RE.ランプが点灯します。DSDリマスタリング機能について詳しくは、「音調整機能を操作する」(30ページ)をご覧ください。

⑦ 音量つまみ*

音量を調節します。調節した音量は、入力ごとに保持されます。

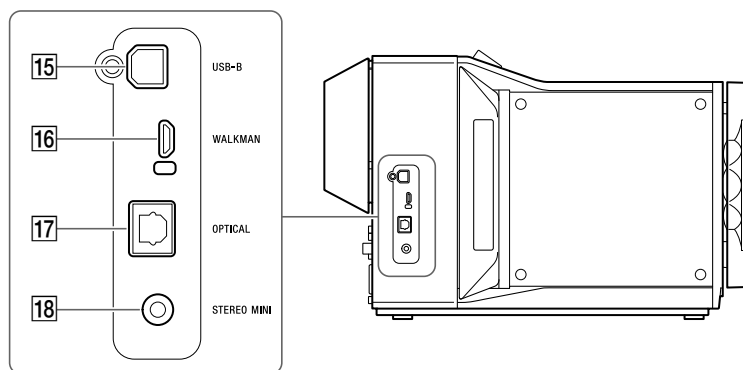
* リモコンのボタンでも操作できます。

背面



- 8 通風孔
- 9 放熱板
- 10 UNBALANCED L/R端子(23 ページ)
- 11 SPK CH(スピーカー左右切り替え)スイッチ(17 ページ)
- 12 DIGITAL SYNC端子(19 ページ)
- 13 BALANCED L/R端子(23 ページ)
- 14 AC IN端子(24 ページ)

左側面



- 15 USB-B端子(20 ページ)

ご注意

USB-B端子にパソコンをつなぐ場合、USBドライバーのインストールが必要です。(26 ページ)

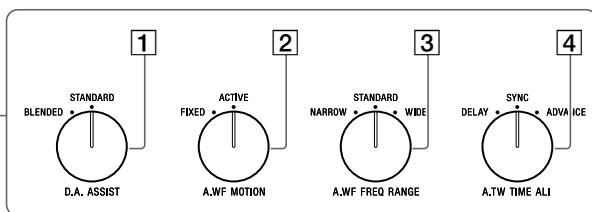
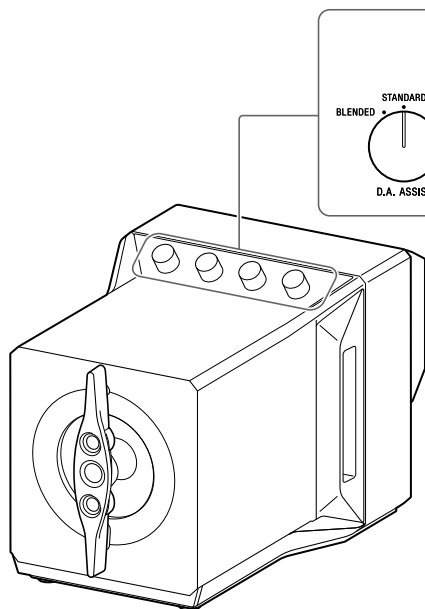
- 16 WALKMAN端子(21 ページ)

ウォークマンやXperia™接続用の端子です。

ウォークマンをつなぐと同時に充電を行いたい場合は、[WM CHARGE]をオンに設定してください。(37 ページ)
お買い上げ時はオフに設定されています。

- 17 OPTICAL端子(22 ページ)
- 18 STEREO MINI端子(22 ページ)

スピーカーB



① D.A. ASSISTつまみ (32 ページ)

デジタル信号の誤差成分を補正するアナログ信号の増幅量を変えて、音色を調節します。

② A.WF MOTIONつまみ (32 ページ)

アシストウーファの動きを切り替えて、音場感や音の広がり、音色を調整します。

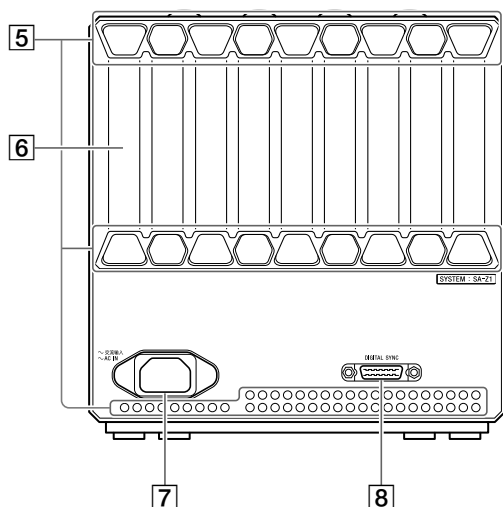
③ A.WF FREQ RANGEつまみ (33 ページ)

アシストウーファの周波数範囲を変えて、音の低域の量感や音色を調整します。

④ A.TW TIME ALIつまみ (33 ページ)

メインウーファに対してトゥイーターのタイムアライメントを切り替えて、音色を調節します。

背面



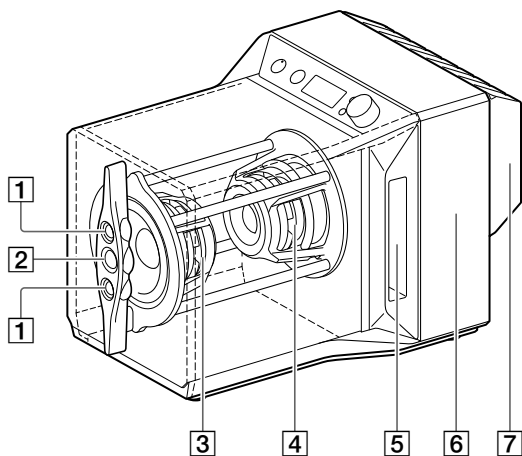
⑤ 通風孔

⑥ 放熱板

⑦ AC IN端子 (24 ページ)

⑧ DIGITAL SYNC端子 (19 ページ)

本体構造



1 アシストツイーター(33 ページ)

2 メイントウィーター(33 ページ)

3 メインウーファー(32 ページ)

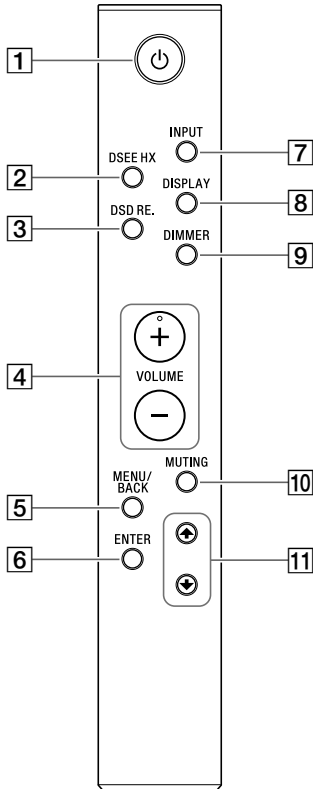
4 アシストウーファー(32 ページ)

5 音道

6 アンプ部

7 放熱板

リモコン



1 電源ボタン*

本機の電源をオン/オフします。

2 DSEE HXボタン*

DSEE HX機能をオン/オフします。DSEE HX処理動作中はスピーカーAのDSEE HXランプが点灯します。DSEE HX機能について詳しくは、「音調整機能进行操作する」(30 ページ)をご覧ください。

3 DSD RE.(DSDリマスタリング)ボタン*

DSDリマスタリング機能をオン/オフします。DSDリマスタリング処理動作中はスピーカーAのDSD RE.ランプが点灯します。DSDリマスタリング機能について詳しくは、「音調整機能进行操作する」(30 ページ)をご覧ください。

4 VOLUME(音量)+/-ボタン

音量を調節します。調節した音量は、入力ごとに保持されます。

5 MENU/BACK(メニュー/戻る)ボタン

メニューをディスプレイに表示します。メニュー表示時に押しすと、音楽再生時の表示に戻ります。

6 ENTERボタン

設定項目や選択内容を決定します。

7 INPUT(入力切り替え)ボタン*

繰り返し押しして、音源の機器をつないだ入力端子を選びます。選んだ入力端子名がディスプレイに表示されます(25 ページ)。

8 DISPLAY(表示切り替え)ボタン

音楽再生時のディスプレイの表示を切り替えます。通常再生表示([NORMAL])と入力信号表示([FORMAT])が選べます。音楽再生時の表示について詳しくは、「ディスプレイの表示を切り替える」(34 ページ)をご覧ください。

9 DIMMER(本体表示)ボタン

ディスプレイと電源ランプの明るさを調節します。ボタンを押すたびにBRIGHT(明るい)→DARK(暗い)→DISPLAY OFF(消灯)→BRIGHT(明るい)...と明るさが変わります。消灯中に本機やリモコンを操作した場合、ディスプレイと電源ランプはDARK(暗い)の明るさで表示されます。

10 MUTING(消音)ボタン

音を一時的に消します。消音中は「MUTING」がディスプレイに表示されます。もう一度ボタンを押すか、本体の音量つまみ、またはリモコンのVOLUME+ボタンで音量を上げると、消音が解除されます。

11 ↑/↓ボタン

メニュー表示時に設定したい項目を選びます。

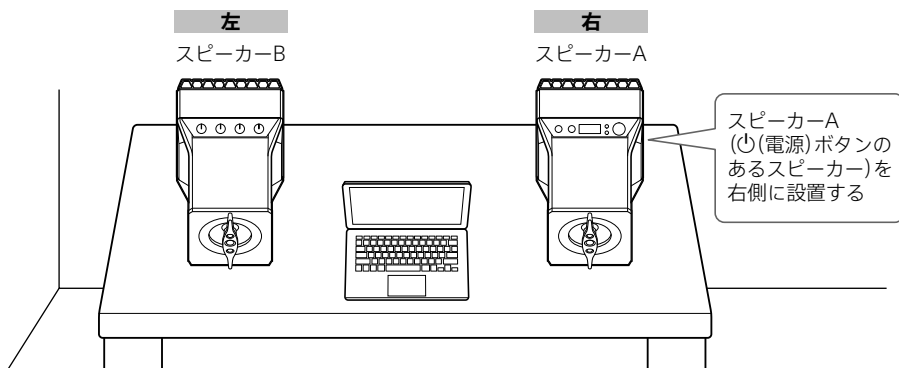
* スピーカーAのボタンでも操作できます。

スピーカーを設置する

音の良し悪しは、スピーカーを設置する環境に影響を受けます。以下に注意して設置し、聞きなれた音楽を再生しながら最適な位置に調整することをおすすめします。

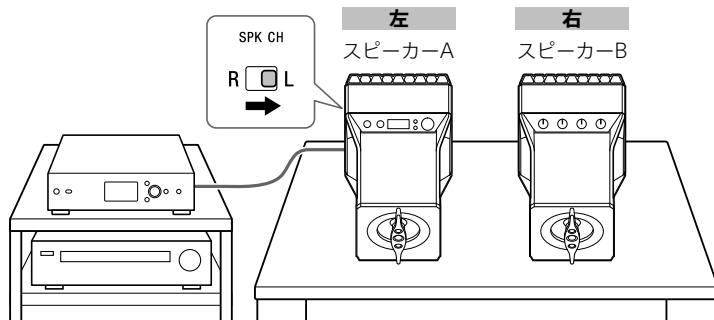
- 壁を背にして置いてください。
- 頑丈な机などの上に水平に置いてください。
- 左右のスピーカーの条件(設置面の素材、壁からの距離など)が同じになるように置いてください。

標準のスピーカー位置



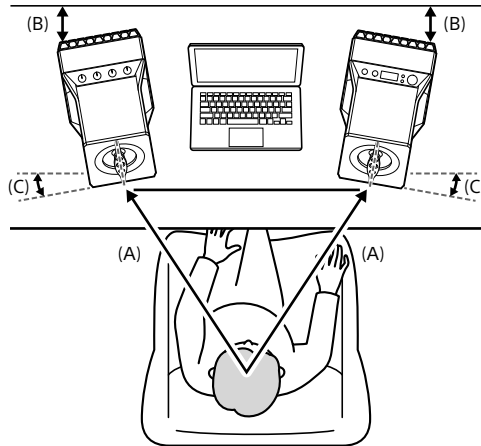
スピーカーAとスピーカーBを逆の位置に設置する場合は

接続する機器が動かせない場合など、両方のスピーカーを機器の右側に置きたいときは、左右逆(スピーカーAを左)に置いて使用することもできます。その場合は、スピーカーAの背面にあるSPK CHスイッチを「L」に切り替えてください。



良い音で楽しむために

- 視聴位置とそれぞれのスピーカーを結ぶ線(A)の長さが等しくなるような位置に置いてください。



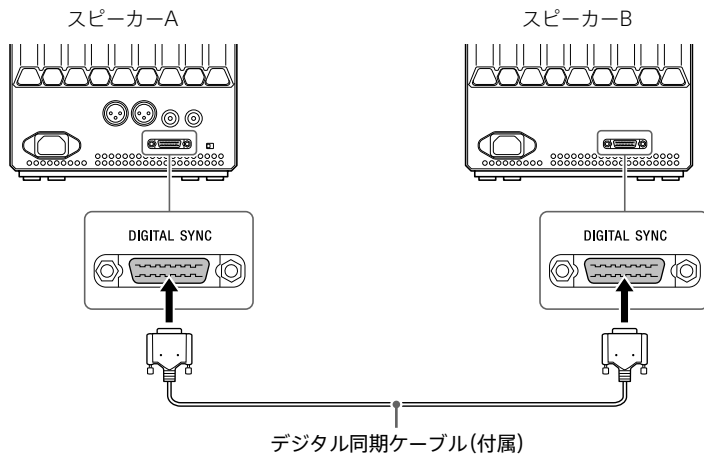
- 壁とスピーカーの距離によって低音の聞こえかたが変わります。壁からそれぞれのスピーカーへの距離(B)は10 cmを目安に、左右同じ距離になるように置いてください。壁からの距離が近いほど低音が増えて聞こえます。
- それぞれのスピーカーの振り角(C)によっても聞こえかたが変わります。振り角は、10°を目安に0°から20°の間をおすすめします。振り角が小さいとステージ感が広がり、大きいと音像がシャープになります。

ご注意

スピーカーの上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。

接続1 左右のスピーカーをつなぐ

デジタル同期ケーブル(付属)を使って、スピーカーA背面とスピーカーB背面のDIGITAL SYNC端子をつなぎます。



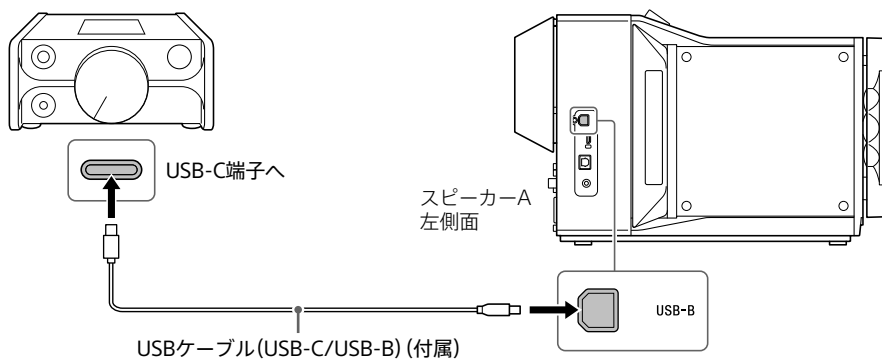
ヒント

スピーカーの設置について詳しくは、「スピーカーを設置する」(17 ページ)をご覧ください。

接続2 入力機器をつなぐ

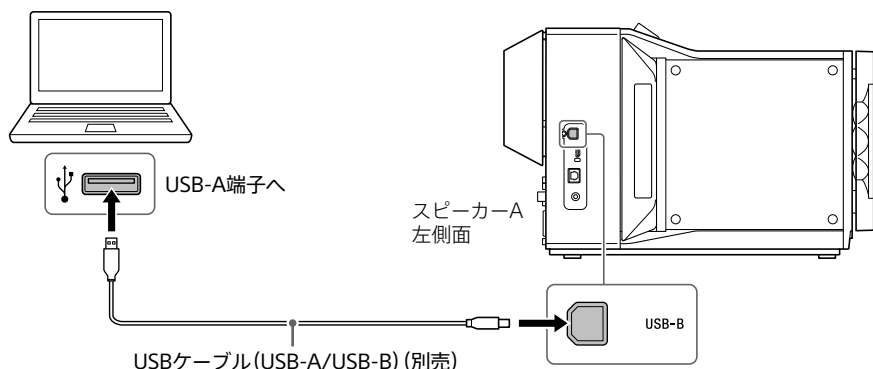
デジタルメディアプレーヤーをつなぐ

スピーカーAのUSB-B端子にデジタルメディアプレーヤー(DMP-Z1など)をつなぎます。



パソコンをつなぐ

スピーカーAのUSB-B端子にパソコンをつなぎます。

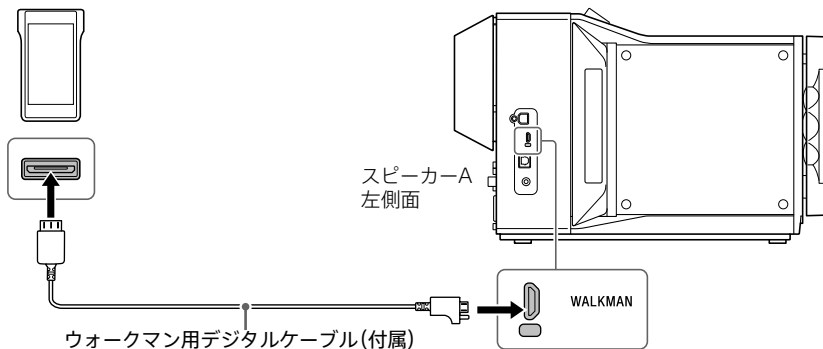


ヒント

- 本機でパソコンの音楽を聞くには、パソコンにUSBドライバーと「Hi-Res Audio Player」をインストールする必要があります。詳しくは「パソコンの準備をする」(26ページ)をご覧ください。
- デジタル出力対応のUSB-C端子付きのパソコンの場合は、「デジタルメディアプレーヤーをつなぐ」(20ページ)をご覧ください。

ウォークマン®をつなぐ

スピーカーAのWALKMAN端子に、デジタル出力対応のウォークマンをつなぎます。

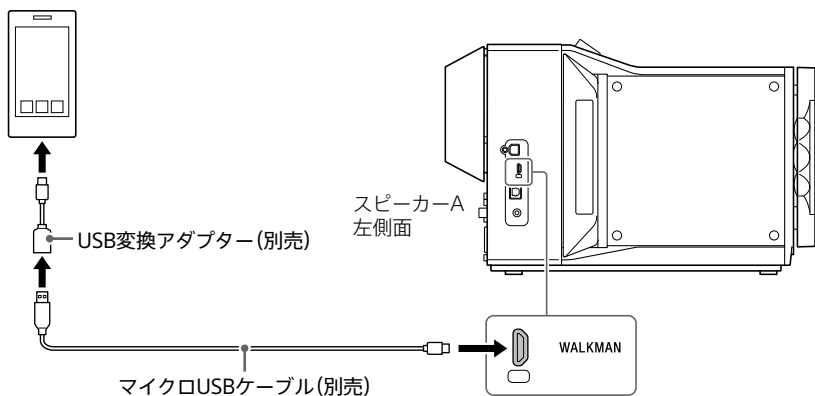


ヒント

- ウォークマン用デジタルケーブル(付属)対応のウォークマンの場合は、ウォークマンを再生しながら充電するよう設定することができます。詳しくは、「メニュー一覧」(37ページ)をご覧ください。
- デジタル出力対応のUSB-C端子付きウォークマンの場合は、「デジタルメディアプレーヤーをつなぐ」(20ページ)をご覧ください。

スマートフォンをつなぐ

スピーカーAのWALKMAN端子に、Xperiaなどデジタル音声出力対応のスマートフォンをつなぎます。必要に応じて、お使いのスマートフォン用のUSB変換アダプター(別売)をお使いください。

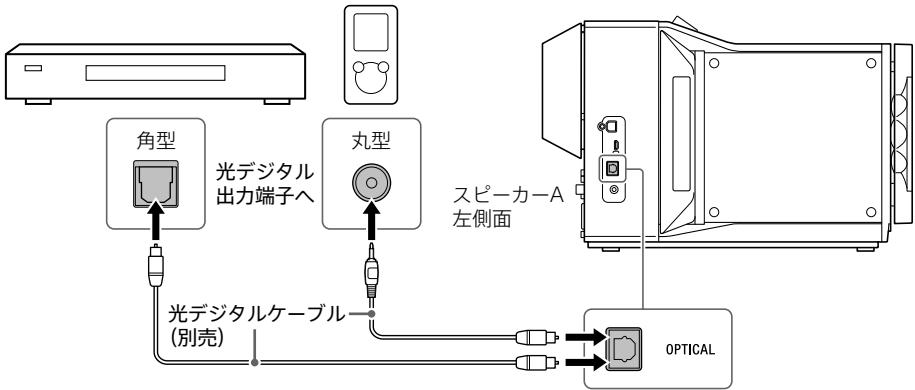


ヒント

デジタル出力対応のUSB-C端子付きスマートフォンの場合は、「デジタルメディアプレーヤーをつなぐ」(20ページ)をご覧ください。

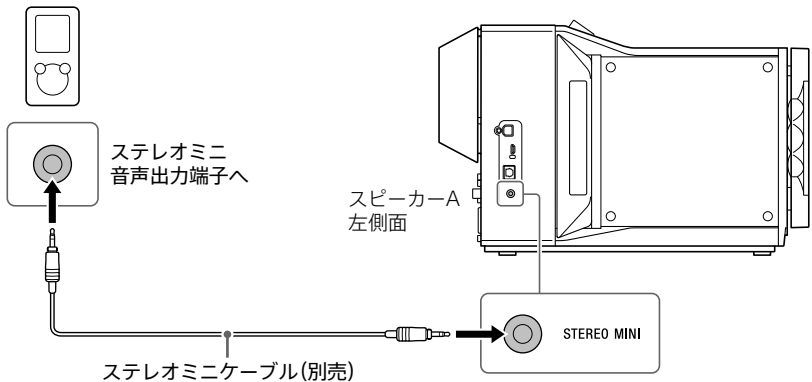
光デジタル出力端子を持つ機器をつなぐ

スピーカーAのOPTICAL端子に、CDプレーヤーやポータブルプレーヤーなど光デジタル出力端子を持つ機器をつなぎます。お使いの機器の端子に合ったコネクタのある光デジタルケーブル(別売)をお使いください。



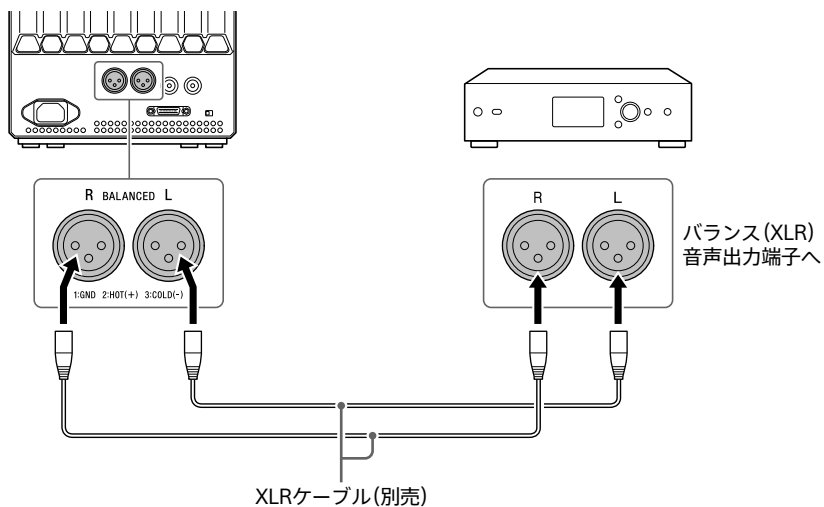
ステレオミニ音声出力端子を持つ機器をつなぐ

スピーカーAのSTEREO MINI端子に、LINE OUT機能を備えたポータブルプレーヤーなどステレオミニ音声出力端子を持つ機器をつなぎます。



バランス(XLR)音声出力端子を持つ機器をつなぐ

スピーカーAのBALANCED端子に、LINE OUT機能を備えたオーディオプレーヤーやヘッドホンアンプなどバランス(XLR)音声出力端子を持つ機器をつなぎます。

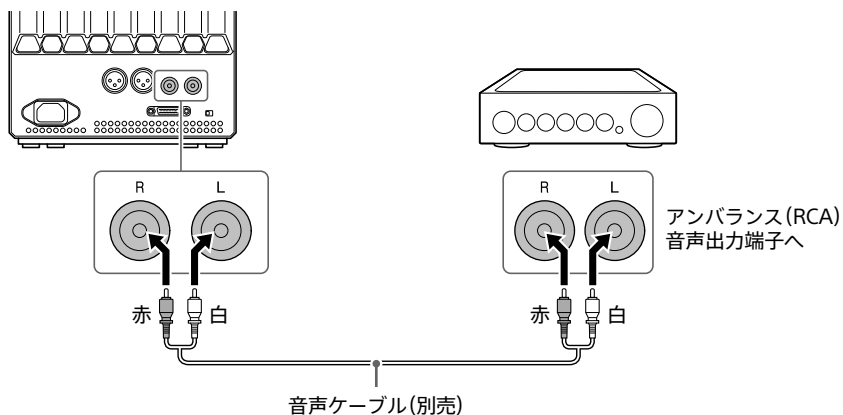


ご注意

入力機器のバランス(XLR)音声出力端子のピン配列が本機と同じ(1: GND、2: HOT(+), 3: COLD(-))であることを確認してください。

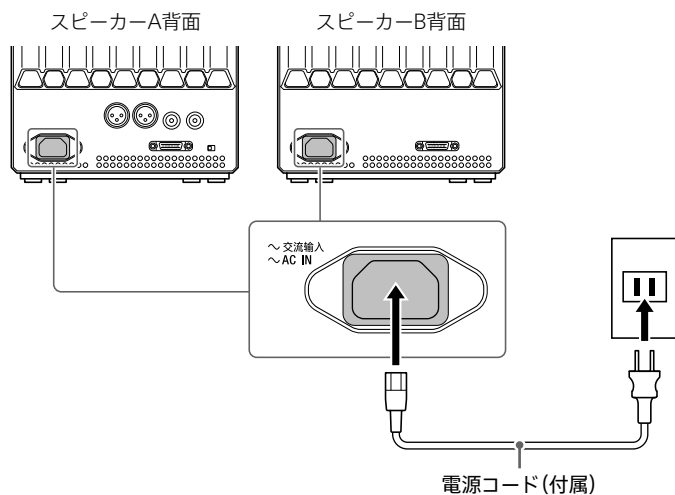
アンバランス(RCA)音声出力端子を持つ機器をつなぐ

スピーカーAのUNBALANCED端子に、LINE OUT機能を備えたオーディオプレーヤーやヘッドホンアンプなどアンバランス(RCA)音声出力端子を持つ機器をつなぎます。

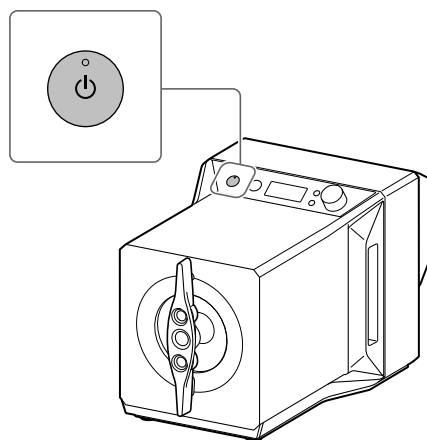


接続3 電源コードをつなぐ

- 1 本機のAC IN端子とコンセントを電源コード(付属)でつなぐ。

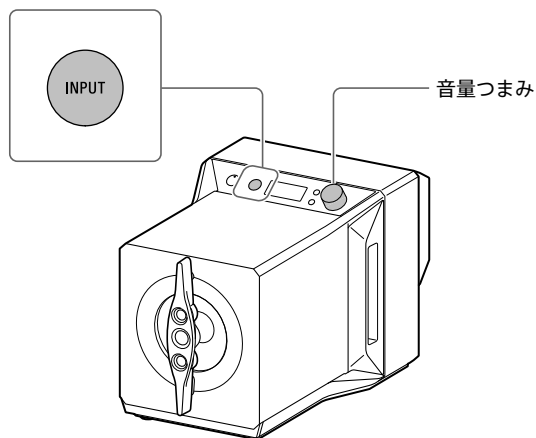


- 2 電源(電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。



ウォークマン、スマートフォン、AV機器の音源を聞く

再生できるフォーマットについては、「主な仕様」(48 ページ)をご確認ください。



1 音楽再生に必要な接続をする (19～24 ページ)。

2 INPUTボタンを繰り返し押して、再生したい音源の機器をつないだ入力端子名をディスプレイに表示させる。

ディスプレイの表示と入力機器

[USB-B] : USB-B端子につないだ機器

[WM] : WALKMAN端子につないだ機器

[OPT] : OPTICAL端子につないだ機器

[BAL] : BALANCED端子につないだ機器

[UNBAL] : UNBALANCEDにつないだ機器

[ST MINI] : STEREO MINI端子につないだ機器

3 音源の機器を再生する。

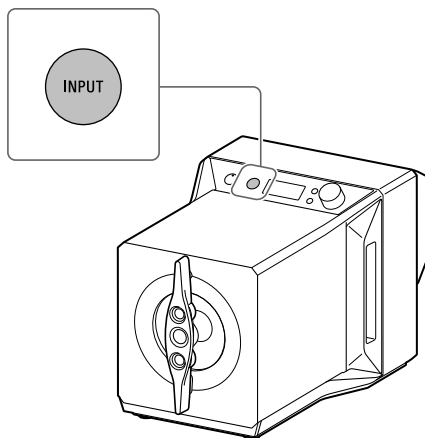
4 音量つまみを回して音量を調節する。

ディスプレイに[OVER]と表示された場合は、スピーカー保護機能が働いています。音量を下げてお楽しみください。

パソコンの音源を聞く

パソコンの準備をする

USB端子用ドライバーをインストールする



1 必要な接続を行い(20 ページ)、本機の電源を入れる(24 ページ)。

2 USB端子用ドライバーをインストールする。

- ① INPUTボタンを繰り返し押し続けて[USB-B]を選ぶ。
- ② パソコンの電源を入れて、本機のUSB端子用ドライバーをインストールする。
つないだパソコンのOSによってドライバーのインストール方法が異なります。

Windows

本機がインターネット接続されたパソコンに認識されると、パソコンにUSB端子用ドライバー (Sony Amplifier Driver) が自動的にインストールされます。

ご注意

USB端子用ドライバー (Sony Amplifier Driver) を使用しないと正常に動作しないため、必ずインストールしてください。

Mac

ドライバーのインストールは不要です。

ヒント

Windowsで自動的にドライバー (Sony Amplifier Driver) がインストールされなかった場合は、下記のURLにアクセスして[ソフトウェアダウンロード]を選び、USB端子用ドライバーをダウンロードしてインストールしてください。

音楽再生ソフト「Hi-Res Audio Player」をインストールする

1 パソコンに「Hi-Res Audio Player」をインストールする。

下記のURLにアクセスして[ソフトウェアダウンロード]を選び、「Hi-Res Audio Player」をダウンロードしてインストールしてください。

インストールの手順やソフトウェアの操作方法についてもこちらのウェブサイトで説明しています。

<https://www.sony.jp/support/audio/>

2 パソコンにインストールした「Hi-Res Audio Player」を起動する。

3 「Hi-Res Audio Player」のツールバーから[設定]—[デバイス]の順に選び、[デバイス名]を[Sony Amplifier Driver]に設定する。

ご注意

「Hi-Res Audio Player」は、必ず最新版にアップデートしてください。最新版でないと本機が認識されません。

Hi-Res Audio Playerについて

「Hi-Res Audio Player」は簡単な操作で高音質ファイルの再生を楽しめる音楽再生ソフトです。

- 簡単な操作でハイレゾ音源を再生
USBオーディオデバイスとお使いのパソコンをつなぎ、簡単な設定をするだけで、音楽配信サイトなどで購入したDSDファイルなどのハイレゾ音源を再生できます。
- プレイリスト機能
音楽ファイルを「Hi-Res Audio Player」にドラッグ・アンド・ドロップすることによりプレイリストを作成して、お好みの曲を好きな順番で再生できます。作成したプレイリストは、保存／編集できます。
- より高音質な再生設定
音楽ファイルをあらかじめパソコンのメモリーに読み込んでから再生することで、パソコンのCPUの負荷を低く抑え、安定した音質で再生できます。「Hi-Res Audio Player」のツールバーから[設定]—[デバイス]の順に選び、[再生モード]を[RAM展開モード]に設定してください。

対応フォーマット

Hi-Res Audio Playerが対応している音声ファイルフォーマットは以下の通りです。

- DSF(.dsf) : 2.8 MHz/5.6 MHz/11.2 MHz/22.4 MHz
- DSDIFF(.dff) : 2.8 MHz/5.6 MHz/11.2 MHz/22.4 MHz
- PCM(.wav/.aiff/.aif) : 44.1 kHz ~ 768 kHz, 16 bit ~ 32 bit
- FLAC(.flac) : 44.1 kHz ~ 384 kHz, 16 bit ~ 32 bit
- ALAC(.m4a) : 44.1 kHz ~ 384 kHz, 16 bit ~ 32 bit
- MP3(.mp3) : 32 kbps~320 kbps

音楽再生ソフト“Sony | Music Center for PC”をお使いになるには

- 1 下記のURLにアクセスし“Sony | Music Center for PC”をダウンロードして、パソコンにインストールする。

インストールの手順やソフトウェアの操作方法についてもこちらのウェブサイトで説明しています。

<http://www.sony.net/smc4pc/>

- 2 “Sony | Music Center for PC”のオーディオ出力設定をする。

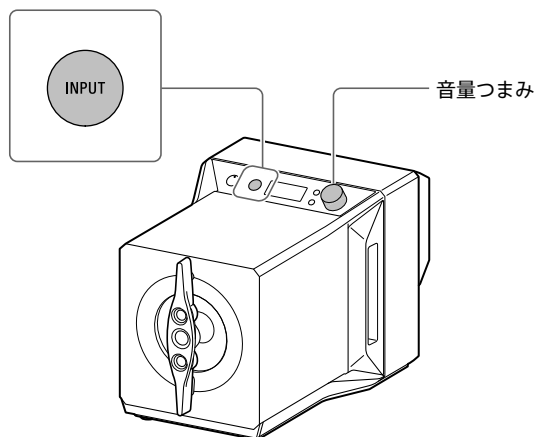
“Sony | Music Center for PC”のオーディオ出力先を、[ASIO]の[Sony Amplifier Driver]に設定してください。

ご注意

“Sony | Music Center for PC”では、本機対応のフォーマットの一部が再生できない場合があります。

パソコンの音楽を再生する

パソコンにインストールした音楽再生ソフト「Hi-Res Audio Player」で再生します。



1 INPUTボタンを繰り返し押し続けて[USB-B]を選ぶ。

[USB-B]がディスプレイに表示されます。

2 パソコンで「Hi-Res Audio Player」を起動して音楽を再生する。

「Hi-Res Audio Player」について詳しくは、27 ページをご覧ください。

3 音量つまみを回して音量を調節する。

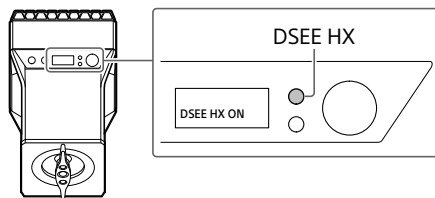
ディスプレイに[OVER]と表示された場合は、スピーカー保護機能が働いています。音量を下げてお楽しみください。

音調整機能进行操作する

本機のボタンやつまみを操作することで、信号を劣化させることなく、音の質感や音色をお好みに応じて微調整しながら、音楽を楽しむことができます。

お買い上げ時の設定に下線がついています。

DSEE HX



スピーカーA

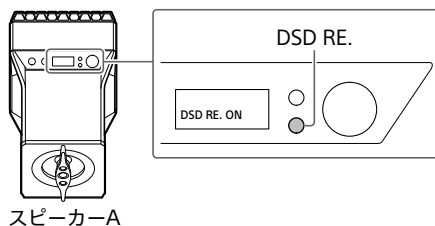
ディスプレイの表示	機能
<u>DSEE HX ON</u>	圧縮音源やCD品質の音源を、ハイレゾ相当の情報量を持つ高解像度音源にアップスケーリングします。 DSEE HX処理動作中は、ボタンの左にあるランプが点灯します。
DSEE HX OFF	音源のままの音質で再生されます。
DSEE HX N/A	INPUTで[BAL]、[UNBAL]、[ST MINI]を選んだ場合、DSEE HX機能は働きません。

操作時に、ボタンの左にあるランプが点滅します。

リモコンのDSEE HXボタンでもDSEE HX機能をオン/オフできます。

DSEE HX機能について詳しくは、「DSEE HX」(40 ページ)をご覧ください。

DSDリマスタリング

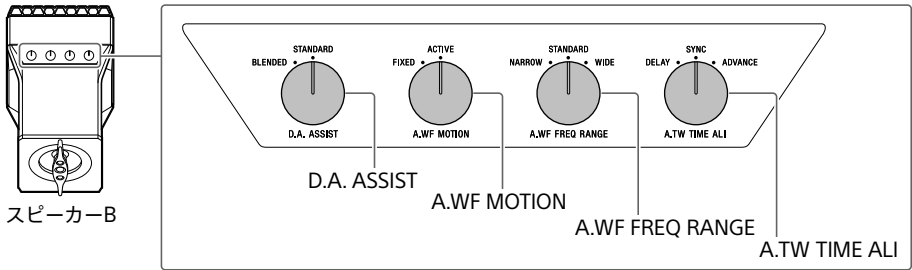


ディスプレイの表示	機能
<u>DSD RE. ON</u>	すべてのPCM信号を元データの情報量を損なうことなく11.2 MHz、または12.2 MHzのDSD信号に変換します。 DSDリマスタリング処理動作中は、ボタンの左にあるランプが点灯します。
DSD RE. OFF	音源のままの音質で再生されます。
DSD RE. N/A	INPUTで[BAL]、[UNBAL]、[ST MINI]を選んだ場合、DSDリマスタリング機能は働きません。

操作時に、ボタンの左にあるランプが点滅します。

リモコンのDSD RE.ボタンでもDSDリマスタリング機能をオン/オフできます。

DSDリマスタリング機能について詳しくは、「DSDリマスタリング」(40 ページ)をご覧ください。



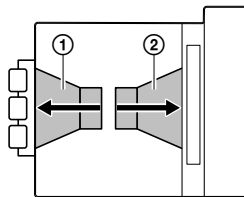
D.A.ハイブリッドアンプANALOG ASSIST (D.A. ASSIST)

デジタル信号の誤差成分補正量をアナログ回路により変えることで、音色を調節する機能です。

STANDARD : アナログ信号はデジタル信号の誤差成分の補正のみに使用されるため、本来のフルデジタルアンプの特徴を持った音になります。

BLENDED : アナログ信号が誤差成分の補正だけでなく増幅にも使用され、デジタル信号と混合されることにより、アナログ音声のような柔らかな音が楽しめます。

アシストウーファーMOTION (A.WF MOTION)

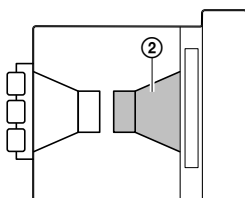


メインウーファー(①)と逆向きに配置されているアシストウーファー(②)の動きを切り替えることで、音場感、広がり感および音色を調節する機能です。

ACTIVE : メインウーファーとアシストウーファーが、それぞれ反対(矢印)の方向に動作して音道から低域を左右に放出することで、広い音場感、広がり感を再現します。

FIXED : アシストウーファーの動作を固定することで、クリアな低音を再現します。

アシストウーファー-FREQUENCY RANGE (A.WF FREQ RANGE)



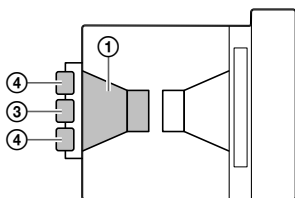
アシストウーファー(②)の周波数範囲を標準設定の周波数値から狭める、または広げることにより、低域の量感および音色を調整する機能です。

NARROW : タイツな低音を再現します。

STANDARD : 本機本来の低音を再現します。

WIDE : 低音域が増強されます。

アシストトゥイーター-TIME ALIGNMENT (A.TW TIME ALI)



メインウーファー(①)に対してトゥイーター(③、④)のタイムアライメントを切り替えることで、音色を調節する機能です。

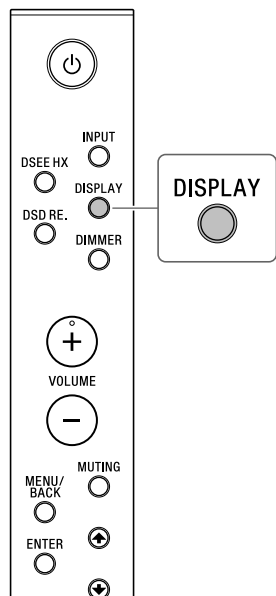
DELAY : メインウーファーに対してアシストトゥイーター(④)の音をより遅く出すことで、柔らかな音色を再現します。

SYNC : メイントゥイーター(③)およびアシストトゥイーター(④)と、メインウーファーのタイミングの同期をとることで、本機本来の性能を発揮します。

ADVANCE : メインウーファーに対してアシストトゥイーター(④)の音をより早く出すことで、くっきりとした音の輪郭を強調します。

ディスプレイの表示を切り替える

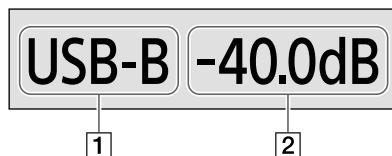
リモコンのDISPLAYボタンを押して、音楽再生時に表示する項目を切り替えることができます。



1 リモコンのDISPLAYボタンを押す。

ディスプレイの表示が通常再生表示または入出力信号表示に切り替わります。

通常再生表示 [NORMAL]

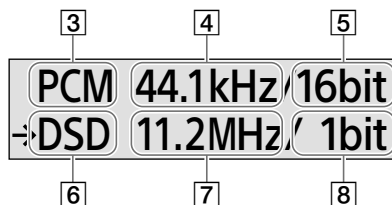


1 入力端子名

2 音量

スピーカー保護機能が働くと、ディスプレイ右上に [OVER] と表示されます。

入出力信号表示 [FORMAT]



3 入力信号のフォーマット

4 入力信号のサンプリング周波数

5 入力信号のビット数

入力信号によっては、ビット数が正しく表示されない場合があります。

6 出力信号のフォーマット*

7 出力信号のサンプリング周波数*

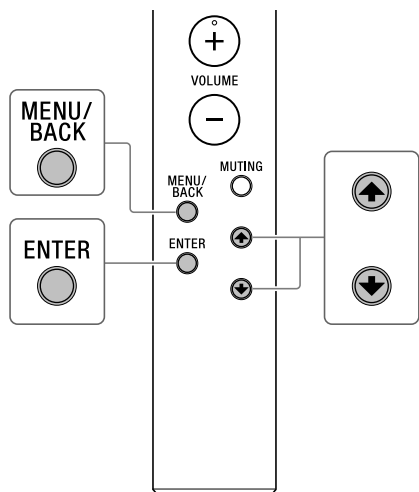
8 出力信号のビット数*

入力信号によっては、8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルターの処理によって 8 fs/32 bit として表示されます (38 ページ)。

* 表示される出力信号は、S-Master HX Processing Blockへ出力する時点の処理信号 (38 ページ) を示します。

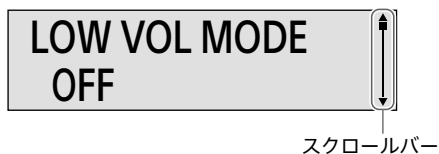
メニューを操作する

ディスプレイに表示されるメニューでさまざまな設定ができます。



1 リモコンのMENU/BACKボタンを押す。

メニューがディスプレイに表示されます。



2 リモコンの↑/↓ボタンで設定したい項目を選び、ENTERボタンを押す。



設定値の左側に▲または▼が表示され設定値を選べます。

設定できる項目について詳しくは、「メニュー一覧」(37 ページ)をご覧ください。

3 ↑/↓ボタンで設定値を選び、ENTERボタンを押す。

選んだ設定を反映して音楽再生時の表示(34 ページ)に戻ります。

ヒント

メニュー操作中にMENU/BACKボタンを押して戻った場合も、変更した設定は保持されます。

お買い上げ時の設定に戻すには

INPUTの設定や音量、メニュー項目の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

1 リモコンのMENU/BACKボタンを押す。

メニューがディスプレイに表示されます。

2 ↑/↓ボタンで[RESET]を選び、ENTERボタンを押す。

3 ↑/↓ボタンで[START]を選び、ENTERボタンを押す。

[RESET]がディスプレイに表示され、お買い上げ時の設定に戻ります。

ヒント

スピーカーAの⏻(電源)ボタンを押してもお買い上げ時の設定に戻すことができます。

⏻ボタンを押してスタンバイ状態にしたあと、⏻ボタンを7秒以上押し続けてください。

[RESET]がディスプレイに表示され、お買い上げ時の設定に戻ります。

メニュー一覧

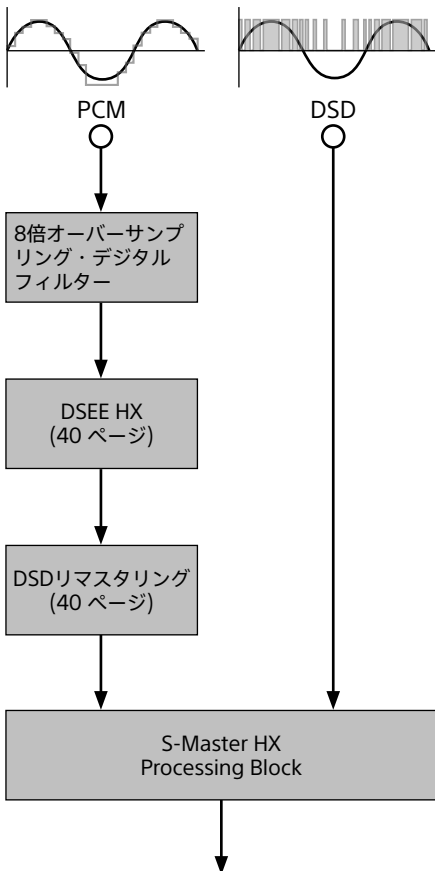
メニューで設定することができる項目と設定値の一覧です。
お買い上げ時の設定に下線がついています。

設定項目	設定値
[LOW VOL MODE] 高音と低音の特性を最適化します。音量を小さく調節しているときも、音源に近いバランスの音で再生することができます。	<ul style="list-style-type: none">• <u>[OFF]</u> : 切• [ON] : 入
[LR BALANCE] 左右のスピーカーの出力バランスを調節します。	以下の間で調節します。 [L -3.00dB] ~ <u>[CENTER]</u> ~ [R -3.00dB] (0.25 dB刻みで調節できます。)
[WM CHARGE] スピーカーAのWALKMAN端子にウォークマンをつないだときに、自動的にウォークマンへの充電を開始するかを設定します。 ウォークマン用デジタルケーブル(付属)を使ってウォークマンを接続しておく必要があります。 本機の電源が入っていないときは充電されません。	<ul style="list-style-type: none">• <u>[OFF]</u> : 切• [ON] : 入
[AUTO STANDBY] 無音で操作をしない状態が約20分間続いたときに、自動的に電源が切れるようにするかを設定します。	<ul style="list-style-type: none">• <u>[OFF]</u> : 切• [ON] : 入
[VERSION] 本機のバージョンを確認します。	<ul style="list-style-type: none">• [UCOM-A] : スピーカーAのシステムバージョンを表示します。• [USBDSP] : USB-B、WALKMAN入力のインターフェースソフトバージョンを表示します。• [UCOM-B] : スピーカーBのシステムバージョンを表示します。
[RESET] 入力切り替えや音量、メニュー項目の設定をお買い上げ時の設定に戻します。	<ul style="list-style-type: none">• [START] : お買い上げ時の設定に戻します。• [CANCEL] : 操作を中断します。

本機の信号処理について

信号処理の流れ

入力信号に対して、独自に開発した高精度演算アルゴリズムで、出力段を駆動するオーディオパルス信号を生成します。



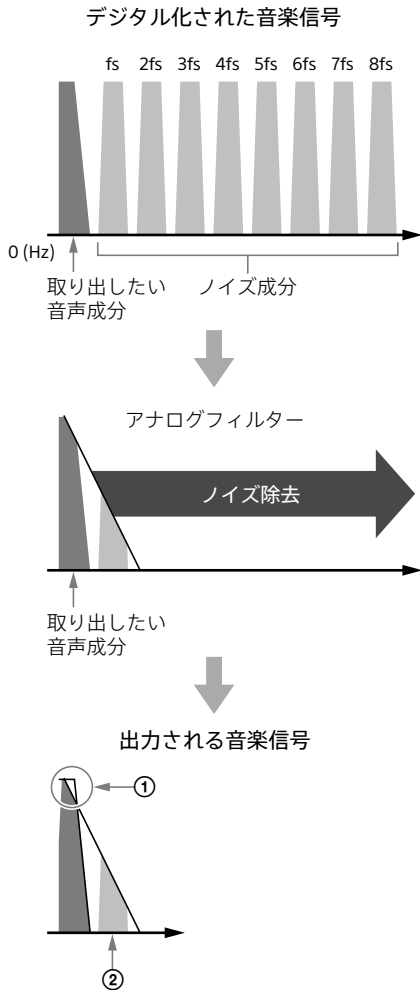
8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルター

PCM音源に対して、最大8倍*のオーバーサンプリング・デジタルフィルター処理を行います。音声成分以外の余分なノイズ成分を除去する処理のため、元の音声成分は加工されません。

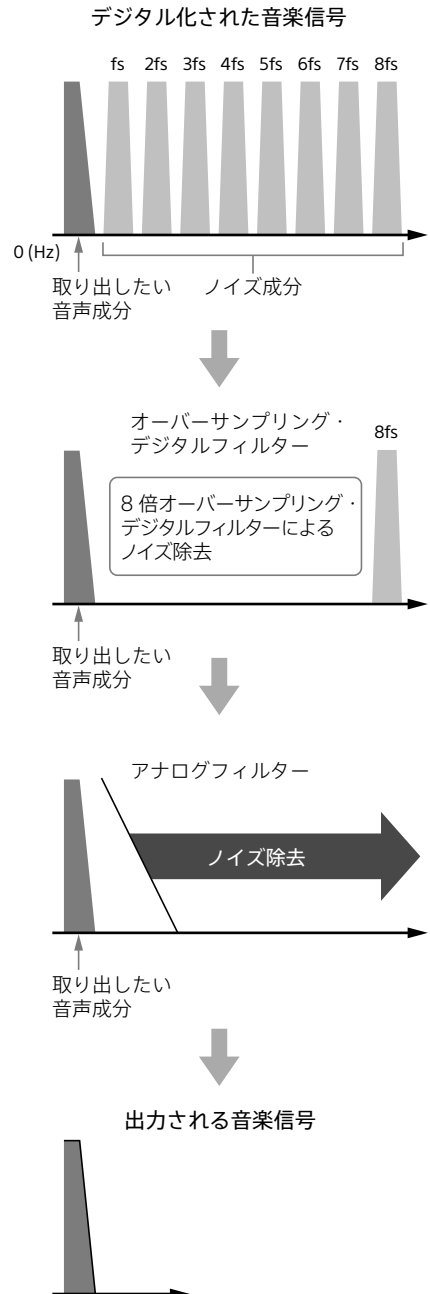
* 44.1/48 kHzでは8倍、88.2/96 kHzでは4倍、176.4/192 kHzでは2倍で変換

PCM信号という形でデジタル化された音楽信号には、元の音声成分の他に f_s ごとにノイズ成分が含まれます。正確なDA変換するためにはこのノイズ成分を取り除く必要がありますが、アナログフィルターだけでは元の音声成分を損なったり①(39 ページ)、すべてのノイズ成分を取り除けなかったり②(39 ページ)します。8倍オーバーサンプリング・デジタルフィルターは、元の音声成分に影響を与えることなく $8 f_s$ (サンプリング周波数) / 32 bit(ビットレート)へ音楽信号を一括変換し、デジタル演算でこのノイズ成分を取り除くことができます。

アナログフィルターを使ってノイズ成分を除去する場合



オーバーサンプリング・デジタルフィルターとアナログフィルターを使ってノイズ成分を除去する場合

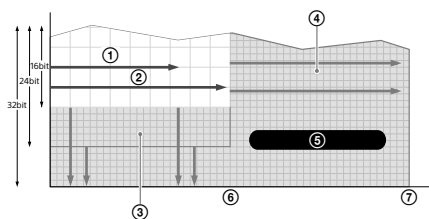


DSEE HX

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、CD (44.1 kHz/16 bit) 以上の解像度に変換を行います。補完処理は、AI (人工知能) 技術を用いて曲のタイプを自動的に判別することで、適切な処理を行います。また、信号処理は40 bit浮動小数点で演算を行い、ノイズシェーピング処理により32 bit固定小数点に変換することで、通常の32 bit精度をはるかに超えた精度の高い周波数拡張とビット拡張を実現します。

DSEE HX機能は以下の信号で動作します。

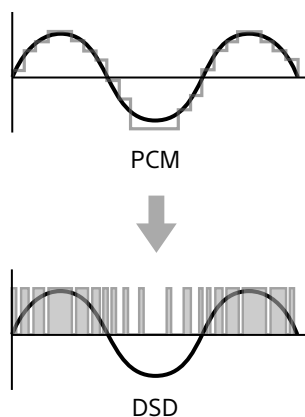
入力信号		DSEE HX	
フォーマット	サンプリング周波数	ビット数	処理動作
PCM	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	16	○
		24	○
		32	○
	88.2 kHz, 96 kHz	16	○
		24	○
		32	—
	176.4 kHz, 192 kHz	16	○
		24	○
		32	—
	352.8 kHz, 384 kHz	16	○
		24	○
		32	—
705.6 kHz, 768 kHz	16	—	
	24	—	
	32	—	
DSD	2.8 MHz, 5.6 MHz, 11.2 MHz, 22.4 MHz	1	—



- ① MP3音質
- ② CD音質
- ③ より微細な音まで再現
- ④ より高い音まで再現
- ⑤ ハイレゾ相当の音質
- ⑥ サンプリング周波数44.1 kHz/48 kHz
- ⑦ サンプリング周波数352.8 kHz/384 kHz

DSDリマスタリング

入力された全てのPCM信号を11.2 MHzまたは12.2 MHzのDSD信号に変換します。ソニー独自の「DSDリマスタリングエンジン」により元のデータの情報量を損なわず、DSD信号に変換します。



D.A.ハイブリッドアンプについて

本機には、新たに開発したD.A.ハイブリッドアンプが搭載されています。パワーアンプ部の最終段には、100 kHzまでの周波数で高精度な増幅を実現するため、高速スイッチングが可能なGaNデバイスを導入し、さらにヘッドホンアンプTA-ZH1ESで開発したD.A.ハイブリッド技術を組み合わせることで、過去に例のないフルデジタル方式のまま優れたオーディオ特性を両立させることを可能にしました。

パワースイッチング(電力増幅回路)に新デバイスGaNを採用

次世代のスイッチング素子であるGaN(1チャンネルあたり4ペアの合計8素子)を導入しました。

GaNデバイスは蓄積電荷がゼロで、従来のSi-MOSFETよりも最大で10倍という高速なスイッチングが可能です。ソニー独自の高精度なS-MasterのPWM信号を、忠実に高速かつロスなくスイッチングでき、本機の100 kHz再生を実現します。



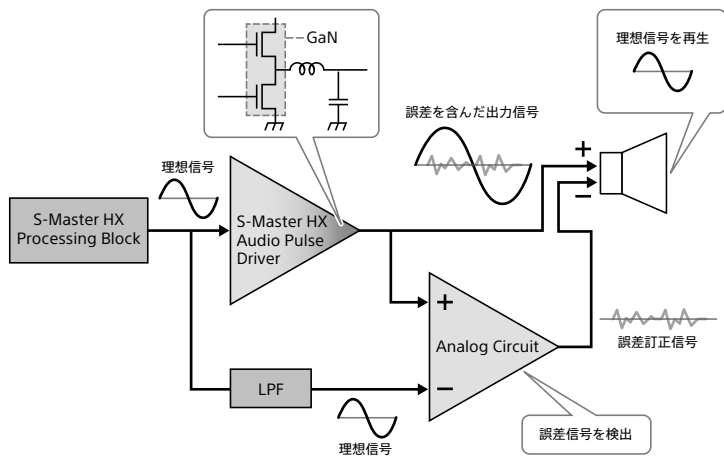
— GaN --- MOS FET
— Ideal Switching Waveform

D.A.ハイブリッドアンプの動作原理

フルデジタルアンプ「S-Master HX」の高情報量、高解像度な音質はそのままに、アナログ回路を用いた信号補正により、大きな出力時のひずみやデジタルノイズをさらに低減して、ハイレゾ音源の再現性を究極まで高めるのが「D.A.ハイブリッドアンプ」です。

フルデジタルアンプ「S-Master HX」のオーディオパルスドライバーから出力されるスピーカー端子(プラス側)の信号は、負荷の変動などにより多少の誤差を生じます。この誤差を含んだ信号から、「S-Master HX」のプロセッシング部から精密なローパスフィルターを通して生成した理想信号を引き算して誤差成分のみを抽出し、アナログパワーアンプで増幅します。誤差成分を含むスピーカー端子(プラス側)とスピーカー端子(マイナス側)に、アナログ回路によって検出した誤差成分を入力することで誤差が相殺され、理想信号だけをスピーカーから取り出します。

通常、アナログパワーアンプは誤差成分のみを増幅するために使われますが、本機のD.A. ASSISTつまみ(32ページ)をBLENDEDに設定した状態では、アナログアンプへ信号成分を加えて増幅します。デジタルアンプ側の出力を制限することによって、デジタルアンプとアナログアンプ両方の特徴を合わせた音色を楽しむことができます。



エージングについて

本機に搭載されているドライバーや電気部品は、エージングを行うことでその特性が安定し、本来の性能を最大限に引き出すことができますようになります。普段お聞きになる音量で10時間程度、慣らし再生をおこなってください。

困ったときは

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

全般

電源が入らない

- 付属の電源コードを、本機のAC IN端子に差し込むときは、奥までしっかり差し込んでください。
-

電源を入れたとき、電源ランプが点滅し続け音が出ない

- 本機が故障しています。電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。
-

リモコンで操作できない

- 本機のリモコン受光部に向けて操作してください(12 ページ)。
 - リモコンと本体の間にある障害物を取り除いてください。
 - リモコンの電池を新しいものに交換してください(9 ページ)。
-

DSEE HX機能をオンにしているのにDSEE HXランプが点灯しない

- 入力信号によってはDSEE HX機能が動作しません。対応しない入力信号の場合は、DSEE HX機能をオンにしても、ランプが点灯しません。対応する入力信号については40 ページをご覧ください。
 - BALANCED端子、UNBALANCED端子、STEREO MINI端子からのアナログ入力信号は、デジタル変換時にDSDフォーマットで処理を行うため、DSEE HX機能は働きません。
-

DSDリマスタリング機能をオンにしているのにDSD RE.ランプが点灯しない

- 入力信号がDSDの場合は、DSDリマスタリング機能は動作しません。
また、BALANCED端子、UNBALANCED端子、STEREO MINI端子からのアナログ入力信号は、デジタル変換時にDSDフォーマットで処理を行うため、DSDリマスタリング機能は働きません。
-

電源が自動的に切れる

- メニューの設定項目[AUTO STANDBY]を[ON]にしている場合、無音で操作をしない状態が約20分続くと、自動的に電源が切れます。電源が切れる1分前から、[AUTO STANDBY]がディスプレイに表示されます。
 - スピーカーA、スピーカーBそれぞれの電源コードを抜き、しばらくしてからもう一度電源コードをつないで電源を入れてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。
-

オートスタンバイ機能が働かない

- メニューの[AUTO STANDBY]が[ON]に設定されていることを確認してください。
 - 本機につないだパソコンに入力を切り替えて音源を聞く場合、パソコンの設定によっては動作音が再生されるため、AUTO STANDBY機能が動作しないことがあります。
-

ウォークマンの充電ができない

本機に原因がないか、以下をご確認ください。

- 本機の電源が入っているか確認してください(24 ページ)。
 - ウォークマンとスピーカーAがウォークマン用デジタルケーブルで接続されているか確認してください。
 - メニューの[WM CHARGE]が[ON]に設定されているか確認してください。
-

ディスプレイに[PROTECT TEMPERATURE]と表示される

- 本機の内部温度が異常に上昇したときに表示されます。本機の通風孔がふさがれていないかを確認し、しばらくしてから \odot (電源)ボタンを押すことで復帰します。
-

ディスプレイに[PROTECT WM CHARGE]と表示される

- WALKMAN端子に接続したウォークマン用デジタルケーブルに異常な電流が流れたときに表示されます。ウォークマン用デジタルケーブルを抜いて、 \odot (電源)ボタンを押すことで復帰します。
-

ディスプレイに[PROTECT AMPLIFIER]と表示される

- 本機が故障しています。電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。
-

ディスプレイに[PROTECT CLK ERROR]と表示される

- 本機の電源を切り、スピーカーA、スピーカーBそれぞれの電源コードを抜いてから、デジタル同期ケーブルをしっかりと差し込んでください。
それでも症状が改善しない場合は、本機が故障しています。電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。
-

ディスプレイに[ERROR NO LINK Lch]または、[ERROR NO LINK Rch]と表示される

- 本機の電源を切り、スピーカーA、スピーカーBそれぞれの電源コードを抜いてから、デジタル同期ケーブルをしっかりと差し込んでください。
 - 本機の電源を切り、スピーカーBの電源コードをしっかりと差し込んでください。
-

ディスプレイに[OVER]と表示される

- スピーカー保護機能が働いています。この場合は、音量を下げることをおすすめします。音量が下がると表示は消えます。
-

ディスプレイに何も表示されない

- リモコンのDIMMERボタンを押して明るさを調節してください。(16 ページ)
-

音

音が出ない

本機に原因がないか、以下をご確認ください。

- 音量が最小、もしくは消音状態になっていないか確認してください(16 ページ)。
 - 入力端子が正しく選ばれているか確認してください。
 - 本機と接続先の機器の電源が入っているか確認してください。
 - 音声フォーマットが本機対応のフォーマットか確認してください。対応フォーマットについて詳しくは、「主な仕様」(48 ページ)をご覧ください。
-

お使いのパソコン側に原因がないか、以下をご確認ください。

- USB-B端子にパソコン(Windows)をつないでいるときは、専用ドライバーがお使いのパソコンにインストールされているか確認してください(26 ページ)。
 - パソコンのOSや音楽再生ソフトの音量が正しく設定されているか、消音設定されていないか確認してください。
 - 複数の音楽再生ソフトを動作させている場合に音が出ないことがあります。再生させたい音楽再生ソフトのみを起動してください。
 - 音楽再生ソフトの設定、OSの設定を変更してください。
-

マルチチャンネルの曲(ファイル)が再生できない

- 2チャンネル音声の曲(ファイル)のみ再生可能です。
-

ノイズやボツ音がる

パソコンで以下のような使いかたをしている場合、ノイズ、ボツ音が発生することがあります。

- 音楽再生ソフト(「Hi-Res Audio Player」、"Sony | Music Center for PC"、他社製音楽再生ソフト含む)を複数同時に起動し、それぞれのソフトウェアを交互に使用している。
 - USB-B端子にパソコン(Windows)をつないでいるときは、専用ドライバーがお使いのパソコンにインストールされているか確認してください(26 ページ)。
-

音が途切れる

- 再生中に起動している他のソフトウェアを停止し、パソコンの処理を軽くすることで改善する場合があります。
 - USB-B端子にパソコン(Windows)をつないでいるときは、専用ドライバーがお使いのパソコンにインストールされているか確認してください(26 ページ)。
-

USB-B

USB機器が認識されない

- 本機の電源を切ってUSB機器を取り外し、本機の電源を入れ直してから、もう一度USB機器をつないでください。
 - USB機器が正しく動作していない可能性があります。USB機器の取扱説明書をご覧ください、問題に対処してください。
 - USB-B端子にパソコン(Windows)をつないでいるときは、専用ドライバーがお使いのパソコンにインストールされているか確認してください(26 ページ)。
-

USBドライバーがパソコンに正常にインストールできない

- お使いのパソコン(Windows)にWindowsの最新の更新プログラムが適用されていないと、USBドライバーが正常にインストールできない場合があります。スタートメニューの「Windows Update」で最新の更新プログラムをインストールしてください。
-

つないだパソコンのスピーカーから音が出る

- お使いのパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーがインストールされているか確認してください(26 ページ)。
 - 音楽再生ソフトの設定、OSの設定を変更してください。
-

主な仕様

システム仕様

再生周波数帯域

51 Hz-100 kHz (−10 dB)

アンプ部

実用最大出力(非同時駆動、JEITA*)

メインツイーターブロック：

スピーカーA 18 W (6 Ω、5 kHz)、

スピーカーB 18 W (6 Ω、5 kHz)

アシストツイーターブロック：

スピーカーA 18 W (6 Ω、5 kHz)、

スピーカーB 18 W (6 Ω、5 kHz)

メインウーファーブロック：

スピーカーA 35 W (6 Ω、100 Hz)、

スピーカーB 35 W (6 Ω、100 Hz)

アシストウーファーブロック：

スピーカーA 35 W (6 Ω、100 Hz)、

スピーカーB 35 W (6 Ω、100 Hz)

全高調波歪率

0.03% (1 kHz、10 W)

周波数特性

10 Hz-100 kHz (−3 dB)

再生周波数範囲

10 Hz-200 kHz

SN比(Aネットワーク)

100 dB

* JEITA(電子情報技術産業協会)規定による測定値です。

入力端子部

USB-B端子部

対応フォーマット

PCM 2ch : 44.1/48/88.2/96/176.4/192/

352.8/384/705.6/768 kHz(16/24/32 bit)

DSD 2ch : 2.8/5.6/11.2/22.4 MHz(1 bit)

WALKMAN端子部

対応フォーマット

PCM 2ch : 44.1/48/88.2/96/176.4/192/

352.8/384 kHz(16/24/32 bit)

DSD 2ch : 2.8/5.6/11.2 MHz(1 bit)

OPTICAL(光デジタル)入力端子部

対応フォーマット

PCM 2ch : 32/44.1/48/88.2/96 kHz

(16/24 bit)

STEREO MINI(アナログ音声)入力端子部

最大入力電圧 2 Vrms

入力インピーダンス 50 kΩ

UNBALANCED(アナログ音声)入力端子部

最大入力電圧 2 Vrms

入力インピーダンス 50 kΩ

BALANCED(アナログ音声)入力端子部

最大入力電圧 2 Vrms

入力インピーダンス 50 kΩ/50 kΩ

スピーカー部

形式

アコースティックサスペンション、

2ウェイ5スピーカーシステム

使用スピーカー

メインツイーター：19 mm ソフトドーム型

アシストツイーター：14 mm ソフトドーム型 x2

メインウーファー：100 mm コーン型

アシストウーファー：100 mm コーン型

一般

電源

AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力

電気用品安全法による表示：

スピーカーA 60 W、スピーカーB 50 W

スタンバイ状態のとき：

スピーカーA 0.5 W以下

スピーカーB 0.5 W以下

最大外形寸法(約)(幅/高さ/奥行き)

スピーカーA：

199 mm × 207 mm × 326 mm(突起部含む)

スピーカーB：

199 mm × 205 mm × 326 mm(突起部含む)

質量(約)

スピーカー A 10.5 kg、スピーカー B 10.5 kg

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
スピーカーシステムは「JIS C 61000-3-2適合品」です。

商標について

- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN® ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Xperiaはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows、Windowsロゴ、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- 本機はMicrosoft Corporationの知的所有権により保護されています。Microsoft またはその認可された子会社の許可なしにこの製品に関わる技術を使用、販売することは禁止されています。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では®、™マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではスピーカークの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

数字

8倍オーバーサンプリング・
デジタルフィルター 38

アルファベット

A

AUTO STANDBY 37

D

D.A.ハイブリッド* 41
D.A.ハイブリッドアンプANALOG ASSIST
(D.A. ASSIST) 32
DIMMER 16
DSDリマスタリング 31, 40
DSEE HX 30, 40

H

Hi-Res Audio Player 27

L

LOW VOL MODE 37
LR BALANCE 37

M

Mac 26

O

OVER 25, 29, 34, 45

R

RESET 36, 37

S

Sony | Music Center for PC 28

U

USB端子用ドライバー 26

V

VERSION 37

W

Windows 26
WM CHARGE 37

かな

あ

アシストウーファー 32, 33

アシストウーファー—FREQUENCY RANGE
(A.WF FREQ RANGE) 33

アシストウーファー—MOTION
(A.WF MOTION) 32

アシストトゥイーター 33

アシストトゥイーター—TIME ALIGNMENT
(A.TW TIME ALI) 33

う

ウーファー 32, 33

ウォークマン 21, 25

え

エージング 42

お

主な仕様 48

音量 25, 29

し

信号処理 38

す

スマートフォン 21, 25

て

ディスプレイ 25, 34

デジタルメディアプレーヤー 20

電池 9

と

トゥイーター 33

ドライバー 26

に

入力機器 10, 20

は

パソコン 20, 26

ほ

放熱板 5

め

メニュー一覧 37

り

リモコン 16

モデル名:SA-Z1

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「306」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 5 0 0 8 0 0 8 0 2 * (1)